

# 交叉点24

20<sup>th</sup>/Feb. / 2020

No 18

## 「うららの恋と巨人ファンのA君」

3年8組 長谷中 利昭



最寄りのワンちゃん美容室でポーズを取るうらら。ボクには見せない表情。美容室のお姉さんにはデレデレ。

うらら。もうすぐ16歳 ♀シェルティ。

大抵の犬に吠えたり、牙を剥いたりして、友好的でない。しかし恋人では？と気になる相手が一人(一匹)いる。その家の前を通ると、彼が奥の方から庭を横切りフェンスまで駆け寄ってきて、お互いの匂いを嗅ぎ合いながら行ったり来たり。ツヤツヤした毛並みのイングリッシュ・ポインター。10歳くらい？「クロちゃん」と勝手に呼んでいる。深窓の貴公子とフェンス越しの恋。

ある日、ヨメさんにクロちゃんのことを話すと、「巨人の星」のKさんちだと聞いた。ビックリ仰天。町内と薄々知ってはいたが、、、ロミオとジュリエットみたい！（ボクはトラファン）

研究室に配属されて来たA君。巨人ファンだと言うので聞いてみた。「A君、巨人の星、知ってる？」「・・・」反応が鈍く知らない風情。

「ほんまに巨人ファン？」後日、聞いたら「あの、大リーグギブスの・・・」とリサーチした様子。「巨人ファンやったら必読文献やで。ボクの町の図書館に来たらいい。全巻揃ってるで」。

A君とは何度か東京に出張した。宿泊はなぜか東京ドームの前。巨人戦ではないが、都市対抗野球のナイターを観戦した。ドーム内部の大きさ、生で見る野球、応援合戦に感激した。A君との付き合いがなかったら知らなかっただろう。

うららは寄る年波で、ジャンプに失敗したり、歩くのが遅くなったりしてきた。とうとうクロちゃん宅の手前で折り返すようになってしまった。一度ボクだけが行ったら、クロちゃんが怒ったように何度も吠えてきた。「うららは何故来ないの？ちゃんと連れて来てよ！」きっとそう言っているに違いない。ごめんな、クロちゃん。

次の散歩の時には、うららをお姫様抱っこして行ったが、クロちゃんは出て来なかった。フェンスをクンクンと虚しく嗅ぐうらら。ごめんな、うらら。またデートのチャンスがあれば良いんだけど。

うららは人間ならば100歳以上。しわも見当たらず(笑)毛艶も良い。口は堅い。秘密や悩み相談はお薦めである。達観した目で淡々と老年期を受け入れる。生きる最低限のものしか欲しないうららを見習いたいと思う。

近況：昨年3月に円満退職しました。現在も同じ職場で仕事をしていますが、自宅での時間が前より増えました。家人と時間の過ごし方を調整し、粗大ゴミにならないよう研究中です。

「無題」

荒牧 聡

私は1954年(昭和29年)1月、明石市の林川端町(現在の林2丁目)に漁師の孫、警察官の子として生まれました。

実家は文字通りの漁村で、自宅から50メートルも行くともう浜辺であり、そこには祖父の蛸釣り船が上せてありました。小さなポンポン船で、小学校に上がる前は一緒に漁に連れていってもらったこともありました。そういうときには必ず船酔いしてしまい、舳先で苦しい思いをしていたのを覚えています。それでも船倉に泳いでいるタコと遊んだり、籠を担いで市場に走る祖父を追いかけていたりしていた、楽しい記憶が残っています。

小学校の3年生頃まででしょうか、近所の悪ガキ共と遊んだ、季節ごとの多彩な遊びが思い

出に浮かんでいきます。コマ回し、凧揚げ、缶蹴り、チャンバラ、空き地で砦作り、三角ベース野球等々・・・

中学ではクラシック音楽にハマりました。一日中ステレオに噛り付いてベートーベンを聞いていたり、友達の家でLPを小脇に抱えて自転車で通って、音楽談議に耽ったりしていました。クラブ活動では美術部で自己流の油絵を描いて悦に入ったりしていました。今では地の利を生かして、上野や首都圏各地に出かけて、多彩な展覧会や音楽会を楽しんでいます。高校では1年間だけ陸上競技部にいました。今年の箱根駅伝は興奮しましたね！

大学では4年間海外の学生と企業研修を通じて交流するクラブにいて、4年生の時に米国にも少し滞在したことがあります。2年生の時に研修生で来日した米国人とは、今でもメールの交換をしています。

77年に大学卒業後は関西の財閥系鉄鋼メーカーに就職し、42年間主に営業畑で仕事をしてきました。昨年(19年)3月末で完全リタイアし、現在は気ままな生活を過ごしています。息子と娘がおり、一応二人とも独立しました(未だ未婚ですが)。現在は89年に越して来た、横浜の郊外に住んでいます。

昨年11月初めに東京ビッグサイトで開催された「東京モーターショー」は、大変面白かったです。近未来の完全自動運転車が色々展示されており、各社の力の入れかたが良くわかりました。若いころはスカGとかフェアレディーとかスピードの出るスポーツカーに興味がありましたが、近ごろは二人乗りの電動ミニカーに関心があります。

また、東京都美術館で開催された「コートールド美術館展」は企画がすばらしく、展示品が充実しており、見応えがありました。今年3月から神戸でも開催されますので、見に行かれることをお勧めします。

近ごろ年のせいか宗教にも関心が強くなり、先日読んだ五木寛之の「親鸞」は大変面白く、勉強になりました。

あと何年生きられるのか分かりませんが、残された時間を、明石で過ごした第一の人生に思いを馳せながら、充実したものにしていきたいと考えております。

#### 《最近気になった言葉》

・歳を重ねるごとに孤独に強くなり、孤独のすばらしさを知る。孤独を恐れず、孤独を楽しむのは、人生後半期のすごく充実した生き方のひとつだと思うのです。～五木寛之「孤独のすすめ」～

・人はそれぞれ事情をかかえ、平然と生きている。～伊集院静～

以上

「明高の校歌が、

今でも空で歌えるのは、

不思議なこと」

小林 正人

ほのぼのと、明けゆく空や雲のいろ 島山のかげは清し…」明高の校歌を覚えているかどうか不安になり、確認してみる時がある。一番なら間違いなく口ずさむことができる。不思議だなあと

思う。確かに、体育祭や文化祭、クラブ活動の壮行会の時など歌う機会は多かった。しかし、卒業後、50年近く経って歌う機会はほとんどない。歳と共に記憶力が落ちていく今や、頭の中から消えてしまってもおかしくはないはずなのに。

思い返してみると、高校時代に校歌を歌っていた時は、嫌々歌っていた記憶はない。ということは、明高での学校生活はそれなりに楽しく充実していて、学校がまあまあ好きだったということかもしれない。

明高生でよかったと思えることは何かと今訊かれれば、高校教員をしていた時、同じ職場内で、年齢が離れていても同僚が明高生だと身構えなくてよかったということだ。少々考え方が違って、本音で話ができるからだ。明高という同じ環境で育ったというだけで通じ合えるところがあったように思える。よく言えば、明高は自由な校風…進学に向けて、過度な宿題や補習を要求されることもない。自分の実力とかけ離れた志望校受験を先生から強く止められた経験もない。生徒自らが自分の学習や進路に責任を持ち、それを先生が見守るような学校だったと思う。だから、「教育」ということにも共通した、共有できる考え方があるのではないかと思う。

明高の3年間で懐かしい思い出もあるが、自分が英語に関わる仕事をしてきたこともあり、英語を教えていただいた先生のことと触れて、話を締めくらせていただきたい。

振り返ってみると、英語を教えるのは、大学生になって、未熟な家庭教師として英語を教え始めてから、40年数年になる。確かに、自分の教えるスタイルは教師になってから身につけたものにはあるが、やはりベースになっているのは明高

で受けてきた授業だったと後になってから思うことが多い。

楞野先生からは英語の予習の仕方、辞書の使い方、特に研究社の英和中辞典の例文の素晴らしさなど、高校生としての英語学習の基本を教えていただき、東道先生からは、内容的にどうしても単調になりがちな英文法や英作文の授業で、ジョーク・ダジャレをうまく使いながら、生徒に興味をもたせるように指導していただき、高田先生からはリーダーの授業でどのような発問をすれば、生徒を十分考えさせ、適切に英文を理解させることができるのかを教えていただいた。それぞれの個性を生かされた先生方の指導が、今の自分の指導の中で活かされていると信じている。特に、東道先生とは、30年近く前に、高校英語教員の研究会と一緒に仕事をさせていただいたことがあり、同じ教員としてそのような機会を持つことができるとは、高校時代には夢にも思いませんでした。その時も昔と変わらない東道先生らしい話し方で接していただき、励ましの言葉もいただいたことを今でも感謝しています。

### 「老いを楽しむ」

3年10組 大西和彦

早いもので、前期高齢者と呼ばれる年齢になってきた。

年齢を重ねるに従って体や思考に色々な変化が表れてきた。特に体に関しては、かつて経験したことのない信号がよく発せられる。体との会話をそんな信号を通してやっている訳だが、この頃は有難いことにインターネットを使うと多くの情報が得られるので、殆どことは調べられるようになったが、初体験の事も多

く、最終的には、お医者さんに相談ということになる。年齢を重ね経験を積まなければ判らない事も随分あった。いわゆる老化現象などはその時になってこんなものかと分かる。近年の例では定年前に人工関節を入れた。当初は歩くと股関節が痛いなどと思い、特に畑をしたり作業をしたせいかなと思って、安静にしてたら治ると思っていたら、段々と痛みが増してきたので、名医中村君に見てもらったところ、何と関節の骨がすり減ってしまっているとの事でした。なるほどレントゲン写真を見せてもらうと随分摩耗している。

昨今はCM等でやたらサプリメントなどがPRされていることもあり、思わず「コンドロイチンか何か飲んだほうがいいかな？」と僕が言ったところ中村氏「すり減ったものは戻らん、メザシでも食ったほうが上や」ということで人工関節に踏み切ったのでした。

当時はまだ定年前の現役時代で長期休暇が取れなくて、紹介状を書いてもらった神戸海星病院の人工関節センターの担当の先生に相談したところしっかり準備すれば、2週間で退院できるようにしてあげるということで、そのために、1年前から筋トレなど理学療法士の先生にメニューを作っていただき、ほぼ一年かけて準備して、手術に臨み、翌日からリハビリが始まり、無事2週間後、予定通りに退院の運びとなった。近年の病院は非常に快適で、できれば、もう少し入院しておきたいとも思ったほどです。

結果的には、サプリなどに頼らず思い切って手術をしてよかったと思う、医学の進歩は目覚ましいと感心した。その後、指が伸びないいわゆる「バネ指」も経験し、これは、しばらく注

射にて延命治療をしたのち最終的に手術をしましたが、こんなことも起こるんやと思った次第である。

自分で経験してみてもなるほど分かったことも多く、まさに「百聞は一見に如かず」である。体からは若いころには気にしてなかったメッセージが出ているのである。

肉体的なことはさておき、精神的にはどうかというと、残念ながら、脳からのメッセージを読み解くには至らず、記憶力の衰退が著しく、脳トレがいるなど感じておりました(当然今も)。

そんな矢先、先輩より「人生は3段ロケットや」とのアドバイスをいただき、役所の再任用を辞め、シニア起業を勢いでやりましたが、非常なエネルギーが必要だとわかり改めて「創業者はえらいな」と痛感した。

かつて、親が小さいながらも事業をやっていた苦労がわかり「親父は偉かったな」と尊敬なおした次第である。

現在もわが事業を細々と脳トレのつもりで何とかやっておりますが、果たして3段目ロケットに点火できるかは疑問だ。

老いてわかる初体験を通じて変化を楽しむ心の余裕をもって日々新しい変化と、新しいメッセージと自身との会話を楽しみたいものである。

若い時代にはわからなかった面白さが蓄積した経験を通して見つかるのを楽しみにしたいと思います。 まさに日々初体験なのだ。

## 事務局からのご連絡

4月25日開催の同期会の様子は、ホームページをご覧ください。リンクは「24回生のポータルサイト」に貼る予定です。

<http://mokuzi24.dokikai.net/>

### ・住所不明者の情報提供をお願いします

1組 菊川忠男 岸本一郎 坂本隆彦 八木義孝 泉谷恵子 松尾洋子

2組 安藤悦郎 竹村郁子 長谷香代子

3組 北田雅福 高橋英樹 高見訓司 土島日出彦 増子 隆 藤永みどり 秋定和子 平野由美子 鈴木佳子

4組 奥野好隆 田村政一 仲井 透 内田志津子 大泉尚子 尾坂尚子 山口哉子

5組 大村直樹 橋本成弘 長谷川俊広 山本和彦 魚住篤子 坂本嘉代子 中川ゆかり 平山登志子

6組 近石 弘 西馬慎三 米谷嘉子

7組 辻 敏明 足立真知子 植田さち 近藤恵子 坂本京子 佐藤美智子 富岡るみ 森江真岐子 盛井雅子

8組 諸岡宗司 山崎清孝 庄司真弓 加藤佐智代 田中英子

9組 魚住一裕 魚谷雅弘 加藤和宏 安井潤

10組 青木賢一 木下孝一 黒田幸雄 西森  
正二 久山哲広 安尾弘文

2020年1月現在(敬称略)

\*名簿の管理は、手作業で行っております。ミスはご連絡ください。

《連絡先》事務局 河合昭彦

〒674-0051 明石市大久保町大窪 1000-1

Tel 090-8659-5628

Fax 078-934-1667

メール [kawai@dokikai.net](mailto:kawai@dokikai.net)

注)河合に連絡いただいた住所はサルトに連絡しますが、サルトに連絡された住所は河合には届きません。

#### ・「24回生のポータルサイト」のご案内

明高24回生同期会関係のホームページのリンク集を作りました。

卒業アルバムへのリンクもあります。

<http://mokuzi24.dokikai.net/>

「会員登録」や「IDとパスワード」の必要なページがあります。

不明な点は河合(kawai@dokikai.net)  
(090-8659-5628)まで問い合わせして下さい。

#### ・メールアドレスをお知らせください

携帯、PCを問いません。

頂戴したメールアドレスは、同期会の連絡用  
にのみ使わせていただきます。下記のアドレス  
にメールを送っていただければ登録します。

携帯の機種変更、転退職、転居等でメール  
アドレスを変更された方もよろしくお願ひいたし  
ます。

[m24@dokikai.net](mailto:m24@dokikai.net)



\*QRコードです。携帯でのご連絡にご利用下さい。(機種によっては使えません)

\*携帯・スマホをご利用の方

[meiko24@dokikai.net](mailto:meiko24@dokikai.net)

からのメールを受信可能にして頂けると同期会  
のメルマガが受信できます。

原稿は常に募集中です。

引っ越しされた、転勤された、お孫様の話題  
等々、なんでも結構です。

通常の段取りとしては、毎年、11月一杯を目  
途に集めた原稿を中村(守)さんがデザイン、2  
月の理事会でサルトさんに渡します。

1月中くらいまでに、メールもしくは郵送にて原  
稿をいただければ掲載できます。